

浜岡原子力発電所5号機 気体廃棄物処理系の点検作業の開始について

平成 20 年 11 月 10 日

11月6日より行っていた気体廃棄物処理系(※1)系統内の残留ガスの置換作業が11月9日に完了し、その他の準備も整ったことから、同日(11月9日)より、気体廃棄物処理系の点検作業を開始しました。

なお、点検結果については、あらためてお知らせいたします。

【平成20年11月6日にお知らせした内容】

気体廃棄物処理系の点検の準備作業として、11月6日より同系統内の残留ガスを窒素ガスにより置換することとしました。

この置換作業が完了し、その他の準備が整い次第、同系統を点検いたします。

([平成20年11月6日公表資料](#))

【平成20年11月5日にお知らせした内容】

5号機は、平成20年11月5日午前9時31分、発電機出力約110万キロワットにおいて、気体廃棄物処理系で系統内の水素濃度が上昇する事象が確認されたため、運転状況の監視の強化等を行っていたところ、午後3時45分、同系統内の希ガスホールドアップ塔(※2)にて温度上昇が確認されたため、午後4時15分に原子炉を手動停止しました。

([平成20年11月5日公表資料](#))

※1 気体廃棄物処理系は復水器に流入する「水素」、「酸素」および「気体状の放射性物質(希ガス)」を処理する系統です。

このうち「水素」と「酸素」は同系統で処理(再結合反応)され水となります。

※2 希ガスホールドアップ塔は、放射性的希ガスを一定期間活性炭に吸着させて放射能を減衰させる装置です。

以上